B-7「竹炭墨汁を作って竹林問題について考えよう」

～クラフト墨汁プロジェクト～

講義担当：SOZAi（そざい） 循環（じゅんかん） Lab（らぼ）（スパイスアップ編集部）

講座対象者	□小学校低学年　■小学校中学年　■小学校高学年 □放課後施設利用児童　■中学生　■高校生　■大学生　■地域一般		
授業活用例	小中学校総合学習、高校 PBL、大学ゼミ活動、公園愛護会活動、コミュニティ醸成		
関連のある SDGsのゴール	主：12 副：2,6,7,8,9,11,13,14,15	オンライン授業	□可　■不可
対応可能曜日	■平日　■休日　□その他（　　曜日）		
対応時間	9：00-17：00 ※時間外も応相談		
年間実施上限数	5 セット		
講座実施方法 ※（　）は場所等	■講義（教室で、プロジェクタを使って当方が説明し、質疑応答型で進めます） ■ワークショップ（屋外や室内で、数人ずつのチームを組んで作業します） □自然体験（　　）		
講座所要時間	プログラム 0～5（講座内容をご参照ください）のいずれも各 80 分/回		
実施条件、必要な準備等	・対象者や制約、要望に応じて、5 講座のうち単体 or 組み合わせ実施可能です。 ・竹を切る場合は鋸を使います。炭焼きをする場合は消防署へ届出が必要です。		

講座内容

【目的とねらい】
日本古来、私たちにとって身近な竹。横浜にはかつてのタケノコの産地もあり、今もなお小さな竹林がたくさんあります。しかし竹の使い道が減った現代においては「放置竹林」が社会問題化しています。本講座では、間伐竹の墨汁作りを通して、自然・脱炭素・サイエンス・アート・ものづくりのいずれかまたは複数のアプローチで、人と自然の関わりや循環型社会について考えます。

【特徴】
・「竹」の生態、時代背景、多様な活用法について学べる
・墨汁づくりの一連の体験にみんなで取り組める
・自分の行動がよりよい環境につながることを体感できる

【プログラム】
※対象者や制約、要望に応じて単体 or 組み合わせ可能
0. 竹と竹林について知る・調べる・考える（教室）
1. 竹を地域の公園等からもらってくる（竹林）
2. 竹を切る・割る（竹林 or 校庭 or 図工室）
3. 竹を焼いて炭にする（花壇や畑など）
4. 竹炭をすりつぶして墨汁を作る（教室 or 図工室）
5. 墨汁で絵を描く（教室 or 図工室）

問合せ先（スパイスアップ編集部　TEL：090-2423-4101
メールアドレス：editor@spiceupaoba.net ）